

第32回 H R 夏季強化合宿

H23.7.2(土)～3(日)

御殿場高原ホテル B U

熱烈歓迎!!

- HRの皆様
- ようこそ
- 御殿場へ

今年の合宿は一味違う

学 ぼ う

遊 ぼ う

喜 ぼ う

三ぼうよし

平成23年度 第32回HR合宿写真



足達 大和 先生 講演

ものの見方で

人は変わる

日 程

- <1日>
- 1. 基調講演「ものの見方で人は変わる」
 - 講師 足達 大和 先生
- <2日>
- 2. グループ討議
- 議題「人としての価値は何で決まるか」
 - ～ 副題をつけて考えよう ～

第1グループメンバー

- ・ 一ノ瀬 善秋
- ・ 長屋 征郎
- ・ 和泉 エイ子
- ・ 千葉 久美子
- ・ 森脇 和子
- ・ 小山 みどり
- ・ 小宮山つや子
- ・ 荒沢 秀文
- ・ 保科 師子
- ・ 梶谷 正博



第1グループの発表

長屋 征郎

副題 「人の役に立つ？」

- 役にたたなければ価値がないのか？
- 価値 = 物事の役に立つこと
- ねうち .
- 効用
- (1) 「次世代へのサポート」
 - ①就職試験(面接)に合格できるために「話し方」をサポートする

第1グループの発表

小山 みどり

副題 「人の役に立つ？」

- 役立たなければ価値がないのか？
- (1) 「現代の姥捨山」
- ①ディサービスの現場
- ②利用者と家族

第2グループメンバー

- ・ 土屋 共栄
- ・ 五嶋 靖弘
- ・ 綾木 光弘
- ・ 佐藤 秀子
- ・ 伊倉あい子
- ・ 藤田 宗晴
- ・ 山本 昭子
- ・ 塩川洋一郎
- ・ 藤本 益代
- ・ 中嶋 浩



第2グループの発表

塩川洋一郎

副題

「宮澤賢治の世界の見方」

(1) 価値

- ①使用価値 具体的 大衆 広い世界
- ②交換価値 抽象的 個人 狭い世界
- 価値の二重性による議論の難しさ
- (2)価値の変換⇒状況による変化

(3)人の自然過程での上昇志向

(知識・技術・科学)

- ①末は博士か大臣か
- ②行き詰まり矛盾の現出

(4)手の届く範囲の生き方に 最大価値を置く

- ①「宮澤賢治の雨ニモマケズ」を通して次世代への問題提起「宮澤賢治の詩を通しての世界の見方」

第2グループの発表

藤本益代

副題「母の生き方から学ぶ」

- (1)家庭での母の姿
 - ①日々の暮らしの中から子供心に感じたこと
- (2)母が亡くなったあと
 - ①自分が母になって気づいたこと

(3)私の母の価値って？

(4)何に本当の価値があったのか？

大切なことに何？

※与えられた状況の中で**淡々と自分**の出来ることを**当たり前**に生きる

※その生き方が**まわりの人**に影響を**与えている**

第3グループメンバー

- ・ 若山 隆志
- ・ 坂本 宣夫
- ・ 山下 昇
- ・ 東條 圭子
- ・ 中島 幸子
- ・ 鈴木 康之
- ・ 眞田 玖子
- ・ 大木 静香
- ・ 高橋 宏江
- ・ 中村恵美子
- ・ 松本かおり



第3グループの発表

高橋宏江

副題 「価値の考え方は変わる」

- 価値とは
- (1)価値ある生き方とは
- (2)震災による価値の変化
- (3)感謝の気づき
- (4)自分の価値を認める
- (5)まとめ

第3グループの発表

眞田 玖子

副題 「存在こそが価値である」

- (1)価値とは(二つの考え方)
- (2)存在感
- ①父の場合 ②私の場合
- (3)価値の分類
- (4)まとめ第3G
- 「存在こそが価値である」

第4グループメンバー

- 河南 邦男
- 小山 清
- 渡辺 瑞恵
- 石田都紀子
- 元木 節子
- 近 ミサ子
- 森本 敏夫
- 名塚 章一
- 外川 幸枝
- 加藤 敬子



第4グループの発表

近 ミサ子

副題 「生きることは素晴らしい」

- (1)夫の死から癒された「話し方の勉強」
- (2)「役に立っているかな」と口癖の姑
- ①～生きているだけで価値がある～
- (3)HR研の理事を受ける
- (4)今、この時を真摯に生きる

第4グループの発表

河南邦男

副題 「大震災を超えて、絆の復活」

- (1)大震災の日～ついに来たか!?
- (2)安心・安全・安定は無くなった～確かなものは人の心
- (3)各々の被災体験～今生きていることは地域の人々の支え

(4)改めて気づいたこと

(5)文明のあり方への懐疑～
価値観の変化

(6)「次」に備える

第5グループメンバー

- 中島 政敏
- 細井 敏朗
- 佐藤 智子
- 秋竹 信子
- 柳田喜代子
- 林 誠
- 中野喜美子
- 長瀬 久藏
- 鈴木 智子
- 豊田 耕一



第5グループの発表

秋竹信子

副題 「今ここを生きる」

- (1)生活の中の小さなことの積重ね
- (2)家族を送り出すときには気持ち

よく送り出す

- ①友人の大学生の息子
- ②厳しい父と私
- ③寡黙な父と母

(3)人は繋がりの中で生きている

「**今ここを生きる**」 —瞬、—瞬
を生きることが人としての価値
ある生き方に繋がる

第5グループの発表

細井敏朗

副題 「存在そのものが価値の

根っこ

にある。人は何をなすべ

きで

何をしたのか～」

- (1)福島県郡山市水道局職員の体験談
- (2)東京都北区観光ボランティアガイド
としての活動
- ①人としての価値は 「いかに他人のため
に尽くせるか」

第6グループメンバー

- 田村 隆昌
- 西田チエ子
- 早川 清栄
- 久保 秀乃
- 橋場千恵美
- 平川 仁美
- 大浦 悦子
- 遠藤 哲夫
- 野口 信久
- 山下 郁子



第6グループの発表

山下郁子

副題「個人主義から共存へ」

- (1)震災で気づいてこと
人は一人では生きていけない
- (2)個人主義の弊害 ⇒
- 先が見えない 心が満たされな
い ・ 閉塞感 ・ 無気力

(3)この背景は

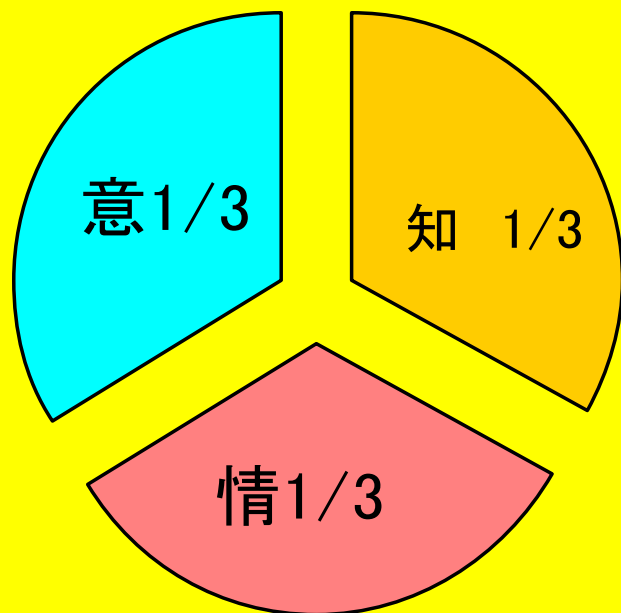
・生活の合理化・社会の合理化

・個人の合理化

・(4)改善は

精神面・教育面・社会面

(4)改善は精神面・教育面・社会面



第6グループの発表

野口信久

副題「個人主義から共存へ」

(1)震災で気づいたこと

人は個人では生きていけない

(2) 経済優先と個人主義の弊害

- ① 1/3の正規社員と2/3非正規社員
の給与・人事格差
- ② 不安定生活・子弟の教育格差→
格差の増大
- ③ 進学率で教師を選別批判する親→
教育の崩壊
- ④ 自尊心の欠如→無気力の浸透→
要求範囲しかやらない

3) 解決策

- ① 歴史の見直し ・ **もっと厳しい状況から立ち上がって来た** 焼野原からの戦後復興 ・ 世界の偉人達の足跡
- ② 絆を大事にしよう ・ **情・意の適正なバランス** で人は人となる
- ③ 自尊心を取り戻せ ・ **各自が自分の持ち場で要求範囲の120%の仕事** をしよう